

組合に相談しよう
 不払い相談、融資・税金相談、教育資金、サラ金、生活保護、社保未加入問題…
練馬支部 03-3825-5522



定価三十円

購読料は組合費に含まれています。

発行所
 東京土建一般労働組合
 城北ブロック会議
 東京都豊島区西池袋 5-22-15
 板橋 (3963) 5325
 練馬 (3825) 5522
 豊島 (3986) 2471
 北 (3902) 7121
 発行人 代表者 川合 正人
 発行日 1日、9日、17日、25日

秋の拡大月間

組合員との対話・結集を力に

月間目標を超過達成！265人の新たな仲間迎える

9月から2か月間にわたりとりくまれた秋の拡大月間。最後まで目標達成をめざして活動した各分会の奮闘で、支部全体で月間目標を30人超過する265人の新しい仲間を迎えました。

今年の秋の拡大月間。この月間の柱を具体化は、新型コロナに加え、ロシアのウクライナ侵攻や円安の影響を受けた物価高が仲間の暮らしと仕事を直撃するなかでとりくまれました。9月4日の秋の支部活動者会議(189人参加)では、日本国憲法の視点から仕事と暮らしを守る要求実現運動を学んで組合運動への確信を深めるとともに、暮らしや仕事での対話をしつつ仲間とつながり組織強化を図りながら、組織拡大へつなげるという秋の拡大月間の柱を提起しました。

仲間との対話

「なかま名鑑」づくりの運動

「なかま名鑑」づくりの運動は、群会議や訪問行動での組合員との対話を軸にとりくまれました。以前から仲間の仕事をつなぐ「助っ人プロフィール」づくりにとりくんでいた田柄分会は、その経験から「分会なかま名鑑」には力を入れている」と、分会六役で討議。組合員がイメージできるように、まずは分会

仲間の結集へ

「はみをつけた」拡大中間決起レクリエーション

仲間との対話から結集へ10月9日、光が丘公園陸上競技場でひらかれた「拡大中間決起レクリエーション」には全分会から組合員・家族403人が参加、コロナ禍が始まって以降、最大の支部行事となりました。「分会対抗みんなで玉入れ」「分会対抗ぎすぎな駅伝」「ちびっこかけっこ」の全世代が参加できる3種目で大いに盛り上がり、分会のきずなを深め、最終盤の目標達成に向けた

分会の継続的な組織強化の
とりくみが拡大につながる

分会の組織強化のとりくみから拡大につながったことも、今年の秋の拡大月間の特徴でした。分会役員引退などで役員体制が危機的な状況を迎えていた谷原台分会。若手の結集がなければ分会がなくなる」と、6月の分会組合学習説明会や「中間決起レクリエーション」を立ち上げ、新しい仲間



谷原台分会を走った(5人衆) 中間決起レクリエーションの若手4人

「シヨ」を分会の若手発掘の機会ととらえ、対話と世話焼き活動に継続的にとりくむなかで、「ぎすぎな駅伝」には20人参加したメンバーを中心に参加をよびかけ、総勢21人で「分会対抗玉入れ」の優勝をかち取りました。その余勢をかって、月間最終盤の10月23日にひらいた分会「BBQ最終盤決起」。中間決起レクリエーションに参加した仲間との交流を促すなかで、参加した事業主が組合未加入の外注さんに声をかけ、9人の大型加入となって、最後に月間・年間目標を達成しました。



多くの分会紙が中間決起レクリエーションを分会の仲間へ伝えました(写真は高松分会の「たかまつ」)

秋の拡大月間の到達

支部年間12%拡大目標 804人に対し、累計成果714人(拡大率10.66%) 残90人
 支部月間3.5%拡大目標 235人に対し 月間成果265人(拡大率3.95%) 超過30人

○年間12%拡大目標達成…13分会

北練馬・練馬・貫井・土支田・南田中・西大泉・泉・旭町光が丘・石神井・谷原台・新大泉・北大泉・南事業所

○月間3.5%拡大目標達成…24分会

北練馬・田柄・練馬・桜台・豊玉・高松・貫井・土支田・南田中・学園・西大泉・泉・石神井台・上石神井・旭町光が丘・北事業所・石神井・谷原台・関町・新大泉・早宮・中村・富士見台・北大泉

ねりほ大根
 ▼食料品の値上げが止まらない。今年値上げされた食品は2万品目以上、値上率は平均14%という。電気、ガスの値上げに続き家計の悲鳴も止まらない▼家計を支える賃金は一向に上がらない。国税庁によると令和3年度の平均年収は443万円。ピークだった25年前の平成9年の467万円から下がり続ける流れは変わらない。平成9年と比較した国民の購買力は単純計算で12兆6480億円も失われた計算になるそうだ。加えて、現在の消費税率は平成9年の5%から倍の10%。国民の生活が苦しくなるのも当然だ▼こうしたなか、政府の「新しい資本主義実現会議」で岸田首相が掲げる「構造的な賃上げ」に向けた議論が始まった。成長性のある産業への転職機会を与える施策が必要だという▼しかし、まずは賃金を押し下げてきた「構造」の見直しが必要ではなからうか。賃金が下がる一方で企業の内部留保が500兆円を超える異常な状況の是正、世界水準よりも低い最低賃金の引き上げを担保する政策等々。政治でなければできない役割が問われている(文)

「子どもの来場が過去最高」、「最初の来場者が住宅相談」

待たれていた住宅デー 3年ぶりに開催



こもれば公園の会場（上石神井分会）

11月6日、第45回住宅デーを開催、区内27会場で全分会がとりくみました。コロナ禍で3年ぶりの開催となった今回の住宅デー、ポスターやチラシを見た区民からの問い合わせも相次ぎました。晴天に恵まれた当日は、「コロナで企画を縮小したが、子どもの来場の多さにびっくりした」（なごみ公園・土支田分会）、「子ども工作教室にたくさんの方が来てくれた。過去最高人数？」（和田堀公園・南田分会）など、親子連れで賑わう姿が見られました。

「最初の来場者が屋根の住宅相談だった」（高稲荷公園・桜台分会）など、住宅相談への区民の関心の高さも示されました。各会場では、断熱材



工作教室は子どもたちで大賑わい（富士見台分会）



包丁とぎも大忙し（田柄分会）

ツシへの交換、貴外壁、部屋の間仕切り、照明、ガラスの修繕など、さまざまな相談が寄せられました。包丁研ぎやまな板



瓦の施工を実物で紹介する企画も（土支田分会）

とや英津子都議、坂尻まよゆき、島田拓、有馬豊、のむら説（共産）、かしわさき強、柴田さち

（こ自民）、しもだ玲（都民フア）ら多くの区議会議員各氏も会場に訪れました。運営の点では、「今回

中心となって取り組んだ」（石神井）、「土建はいろいろなことに取り組んでいるんだと、運営初参加者が感心していた」（南事業所）など、分会の努力と工夫で新たな運営参加者の確保もすすみました。

新型コロナの影響で飲食企画を断念したため、これまでと比べて集客に物足りなさを感じる会場もありましたが、全分会で取り組み、各分会が工夫を凝らして開催したこと、来年に向けて大きな弾みとなりました。

練馬支部のブースには大勢の親子連れ



練馬まつり

練馬支部の工作教室に355人の子どもが参加

第45回練馬まつりが10月16日、3年ぶりに開催。当日は全体で5万2千人が来場しました。従来の

会場だった「しまえん」の閉園に伴い、今回の練馬まつりは練馬駅北口およびマロニエ通り周辺（南町小学校・開進第二中学校・練馬総合運動場ほか）で開催。練馬支部は開進第二中学校で、こども工作教室を行いました。

要請されるなか今回は、従来の「小物入れ」作りなどの木工や「アルミ板細工」は実施せず、ミニかんなどを使った箸作り、「かんながけ」と丸太切り」体験で、のべ355人の子どもたちに楽しんでもらいました。



箸作り 上手にできるかな？ 「かんながけ」に初めて触る子どもたち



丸太切りに挑戦

今回の練馬まつりを迎えるにあたり、担当の技術対策部は7月から3回初め指導員として参加した26歳の建築大工、井口拓未さん（練馬分会）

の会議・準備を実施。特に「練馬まつりに来たの初めて。こんなお客さんが多いとは思っていませんでした。初めは正直ビビりました。でも子どもたちが、かんながけに触ることがある子もなしてきてくれたので、私もとても楽しかったです」と感想を語っています。

のかんながけのデモンストラーションは、参加した子ども、保護者の注目を集めました。井口さん

CCUS技能者登録 100万人を突破

建設キャリアアップシステム（CCUS）の10月末時点の技能者登録数が全国で102万4269人となり、100万人を突破しました。全技能者の3人に1人が登録していることとなります。11月15日の閣議後会見で齊藤鉄夫国土交通相が明らかにしました。

齊藤国土交通相はさらなる普及と活用に向け「技能者の処遇改善につなげていくことが重要」と強調。具体的には「技能、経験に応じてレベル別に賃金目安を示し、職種ごとにレベルに合わせて賃金が上昇するよう促していきたい」とのべました。

課税業者も免税業者も

知れば知るほど 怒り広がる インボイス制度

練馬支部では、10月に「インボイス制度学習会(初級編)&なんでも相談会」を4回開催。学習会参加の18人のほか、個別相談を含め10月のインボイス相談件数は、前月までの倍以上となる31件ののぼっています。

課税業者の怒り

一方、下請にインボイス登録を求める立場となす「課税業者」からは、「ただでさえ人手不足のなかで仕事の依頼(お願い)をしていない立場であるが、下請けにインボイスを求めることはできない」「なぜ同じ事業者の立場で下請けの消費税申告の説得までしなくてはいけないのか?」など、それぞれの立場から悲憤な想いが寄せられています。

こんな制度は延期・中止だ!!

知れば知るほど怒りがひろがるインボイス制度。この間、インボイス制度導入反対の動きは、

免税事業者を中心とした運動から、上位業者を含む多くの事業者団体を巻き込み大きな「うねり」へと発展しています。地域を基盤に122万人の会員数を有する日本商工会議所は、9月にインボイス制度の導入凍結の政策提言を公表。8万人の登録税理士を有する日本税理士連合会も次年度の法制改正に関する建議書のなかで制度延期を求めています。また、インボイス制度の中止・延期を求める地方議会の国に対する意見書も289の自治体から543件が財務省に寄せられています。インターネットを活用した「STOPインボイス」の運動も約10万筆の署名を集め、反対運動をすすめています。



練馬支部の学習&個別相談会

るのは、2023年10月1日から。登録は2023年3月までですが、事情があれば特例措置として9月30日まで受け付けるとしています。

登録は課税業者でもすすんでいない

東京商工リサーチによると、国税庁は消費税の納付義務のある法人や個人企業など約300万社の課税事業者のインボイス発行事業者への登録を見込んでいるが、今年8月末の登録件数は100万件に満たず、国内企業等の登録率は法人42.4%、個人企業は9.9%にとどまっています。

組合の学習会&個別相談会を利用しよう

インボイス制度が始ま

ちよっと深ぼり インボイス制度

建設業では、免税業者を強制的に課税業者にする制度

インボイス制度が始まると、消費税を本則課税(仕入税額控除)で納付している事業者は、インボイスに登録した事業者(下請)からの請求書でないと、下請に支払った消費税の税額控除ができなくなります。そこで、この事業者は、下請にインボイスに登録するように求めることとなります。

「免税業者がインボイス登録=課税業者になるといくら負担が増えるの?」

インボイス制度は500万社ある消費税の免税業者にとっては、これは下請にとっては

要はありません。しかし、町場で個人の施主さんだけでなく取引している場合(この場合も施主は仕入税額控除をしないので事業者がインボイスの登録は不要)はともかく、建設業はさまざまな現場で、上位業者の消費税の申告方式とは関係なく、業との取引から排除されたり、消費税分の値引きを求められたりすることもあります。

「消費税は、事業者が消費税率を自由に設定した価格の10%を課税し、事業者が国に納める」というのが現実です。

「消費税」という名前に惑わされますが、消費税は消費者からの預り金ではなく、たんに事業者が設定した価格の10%を事業者自身が納めているにすぎません。

「免税業者だけがいない!建設業者全体の問題」

本則課税を選択している課税業者(上位業者)にとっても、インボイス登録を下請に求めるという厳しい課題を抱え込んでいます。また、仕入税額控除ができない課税業者がその分価格を上げると、消費者にとっても新たな負担になります。

「免税業者は消費税分を儲けている」という声があります。しかし、法律上、消費税を納税する義務があるのは消費者で

「免税業者は消費税分を儲けている」という声があります。しかし、法律上、消費税を納税する義務があるのは消費者で

免税業者は「消費税分を儲けている」?

「免税業者は消費税分を儲けている」という声があります。しかし、法律上、消費税を納税する義務があるのは消費者で

インボイス制度学習会

「初級編」&なんでも相談会 12月も開催

初級者むけに制度の概要説明から、登録の実務編、運動編までわかりやすく学べる学習会を10月に引き続き12月も開催します。

【日程】12月20日(火)

◇昼間10:00~11:30

◇夜間19:30~21:00

【会場】練馬支部会館

【参加費】無料

【申し込み】

申込書のFAX、もしくは電話にて支部まで

* 随時の相談も受け付けます。支部までお電話ください

女性の会「とらいあぐる」

子どもと一緒に さつまいも収穫祭



11月3日、女性の会「とらいあぐる」イベント「さつまいも収穫祭」が、昨年に引き続き大泉町の白石農園で開催され、13分會から16組41人(子ども20人)が参加しました。「とらいあぐる」は「とらいあぐる」は49歳以下の女性の会会員で構成されています。今年も晴天に恵まれましたが、昨年とは違い一般の参加者も大勢来場し、たいへんな賑わいのなかでの開催となりました。秋の会員拡大月間中の女性の会

地域の防災活動の担い手に

練馬支部 チーム「NAMAZU」

普通救命講習を 練馬消防署で開催



練馬支部の防災組織「チームNAMAZU」が10月30日、普通救命講習を実施。練馬消防署で

去や止血法を学びました。

「チームNAMAZU」の開催ということで小規模ながら、17人が受講し心肺蘇生法やAED、異物除去や止血法を学びました。コロナ禍のなか、普通救命講習は2年ぶりの実施となりましたが、これまでの継続した講習会のとりにみに対して9月に東京消防庁から感謝状の贈呈を受けました。今回も人数制限がやむをえない状況でしたが、参加した仲間が熱心に講習に取り組みました。



参加した関町分会の仲間

関町分会がダンボールトイレ・ペットボトルろ過器の作成体験会

10月16日、関町防災ネットワーク主催の防災体験学習会が関町小学校で開催され、12団体75人、

関町地区防災ネットワーク「防災体験学習会」

読者のひろば

〇コロナが蔓延してから、当日の開催を待つら三年が過ぎて、久しぶりです。(矢吹光ぶりの住宅デー。我が英さん/大泉東分會分會でも戸惑いながらの開催ができてよかった。木工教室はテッドです。そして、西大ッシケースで決ま泉分會の加藤さん、中り、仲間の大工さんと、学生の職業体験を受け先日材料加工が終わ入れてくださりありがとう 石神井分會

一般参加51人の合計125人(うち母体として2018年5人が参加しました)に発足。練馬区と石神井

関町地区防災ネットワークは、関町地域の町会、同業として関町小学校や防災会などの防災機関で「防災体験学習会」を連携して防災活動を行ひらき、東京土建も関町

求人

重機オペレーター・手元作業・ドライバー(3人以上) 社員及び短期
株式会社信和(関町分會 練馬区関町東2-14-4) 03-3928-0105
多能工・クロス・大工・設備・電気・クリーニン グ(3人以上) 社員
有限会社アーバンサービ ス(世田谷支部)
練馬区大泉町2-28-6 0800-4605-3097

第39回仲間の作品コンクール

組合員の交流や出番づくりの場として文芸・写真の作品コンクールをおこないます。応募は練馬支部厚生文化部まで。

《応募要項》

- 【文芸の部】①短歌、②俳句、③川柳、1人につき1部門5作品まで。
 - 【写真の部】①組合活動、②スナップ、③風景、④課題部門「私にとっての平和」平和を感じる確かな瞬間
- ※応募には作品紹介の簡単な文章を添えてください。
◎応募作品は、肖像権に抵触しないように注意してください。
◎サイズは、A4又は六つ切りです。スマホ写真、デジタルカメラ写真もOK。
1人1部門3枚まで。
【応募締切】12月末(支部は12月27日まで)